

全日本トラック協会

トラック運送業界の景況(速報)～平成31年4月～令和元年6月期～

共通の概況①：今回(平成31年4月～令和元年6月期)の状況と今後の見通し

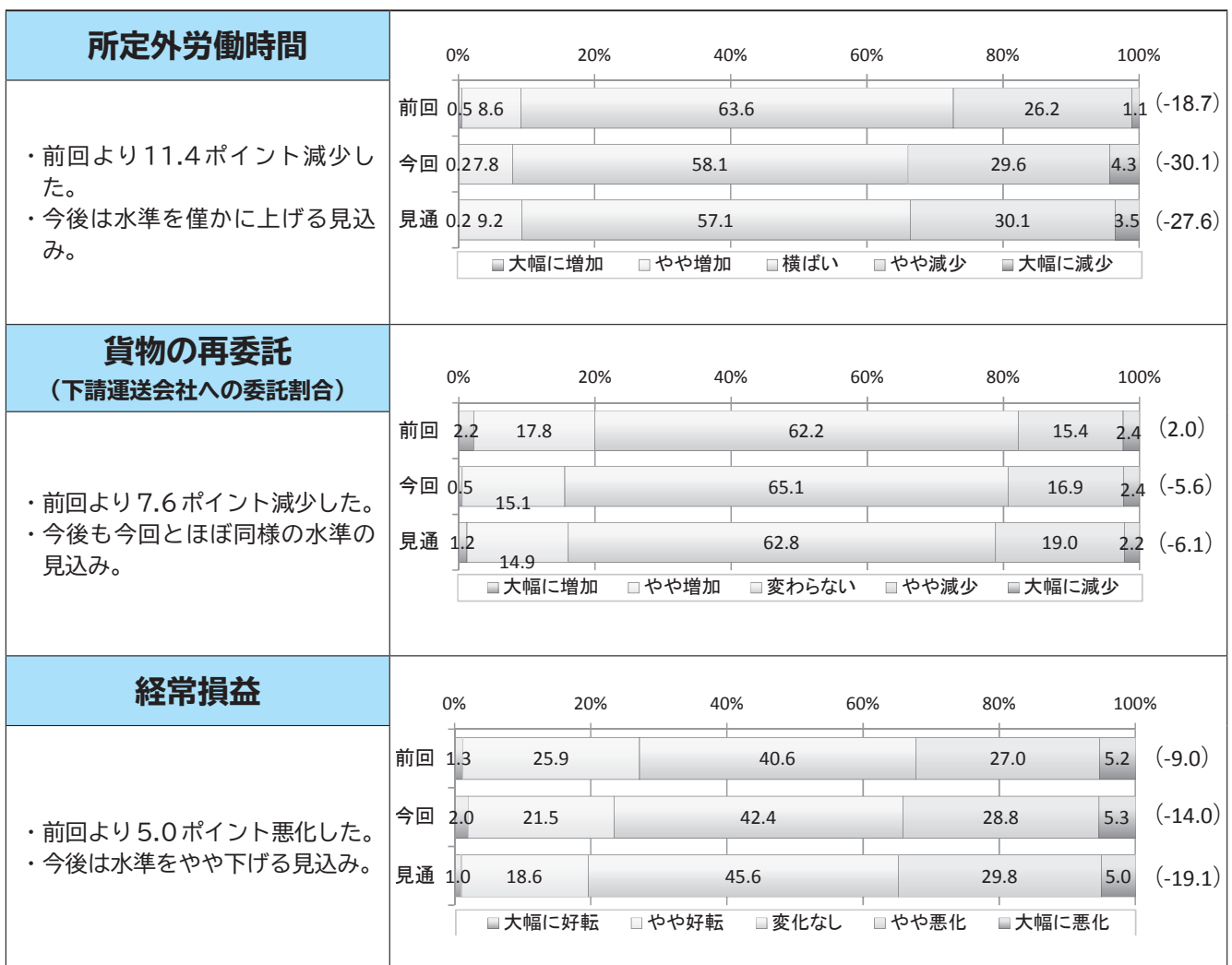
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲14.5(前回▲4.9)と9.6ポイント悪化、実車率は▲14.5(前回▲4.7)と9.8ポイント悪化し、前回と比較して輸送効率是一段と悪化した。 ・採用状況は▲4.3(前回▲4.3)と横ばいで、雇用状況(労働力の不足感)は91.2(前回90.8)と0.4ポイント上昇した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲15.0(今回▲14.5)と0.5ポイント悪化、実車率は▲15.5(今回▲14.5)と1.0ポイント悪化するなど輸送効率は悪化する見込みである。 ・採用状況は▲11.6(今回▲4.3)と7.3ポイント悪化することから、雇用状況(労働力の不足感)は97.8(今回91.2)と6.6ポイント上昇し、労働力の不足感は強まる見込みである。



※雇用状況については、上段は前回(H31.1月～3月期)の状況、中段は今回(H31.4月～R1.6月期)の状況、下段は今後(R1.7月～9月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

共通の概況②：今回(平成31年4月～令和元年6月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送数量の減少(マイナス圏内)から、所定外労働時間は▲30.1(前回▲18.7)と11.4ポイント減少し、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲5.6(前回2.0)と7.6ポイント減少した。 ・経常損益は▲14.0(前回▲9.0)と5.0ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・所定外労働時間は▲27.6(今回▲30.1)と2.5ポイント増加する見込みであり、貨物の再委託は▲6.1(今回▲5.6)と0.5ポイント減少する見込みである。 ・経常損益は▲19.1(今回▲14.0)と5.1ポイント悪化し、経常損益の水準は一段と落ち込む見込みである。



【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第106回調査は、令和元年7月1日に、モニターに対して調査開始、令和元年7月31日回収分までを集計。

特種	一般	回答事業者全体
82	575	601

※一部回答事業者の重複あり



詳細版については、当協会ホームページからダウンロードできます。

<http://www.ishitokyo.or.jp/>
HOME〉最新情報